

令和6年度 JAいわて中央 りんご早生品種 受付対策

1. 受付期間・分割期間・受付選果場

R6.8.22

品種	区分	受付選果場	第1共計	第2共計	第3共計	受付終了(期限)	
						低地	高地
早熟きおう	B	紫波・矢巾 都南・盛岡	共計は分けない	—	—	8/21	
さんさ	A	紫波・矢巾	共計は分けない	—	—	9/8	9/10
	B	都南・盛岡					
きおう	A	紫波・矢巾	共計は分けない	—	—	9/16	9/20
	B	都南・盛岡					
サンつがる	A	紫波・矢巾	原箱 1,000 箱	原箱 1,000 箱	第2共計終了後	9/16	9/20
	B	都南・盛岡	原箱 1,500 箱	原箱 2,500 箱			
			または9/11まで				
紅いわて	B	都南	共計は分けない	—	—	9/22	

共計設定：つがるの各共計は設定した数量を越えた日まで、または指定日とし次の日から次共計

- ※ 集約選果のため、品種により他選果場へ搬入のご協力をお願いします。
- ※ 本年度は紫波・矢巾が一般体系、都南盛岡が特裁体系を中心に選果いたします。
- ※ 必ずストッポール散布日から、必ず8日目以降から収穫を始めてください。(きおう、つがる)
- ※ きおう：早熟果(ツル割・ツル浮)の時期でも正常果と判断出来る果実は、正常果として受付出来ます。早熟、正常を必ず分別して搬入して下さい。
- ※ 受付締切日までに成熟せず、収穫出来ない場合はJA担当者へご相談下さい。

2. 受付時間

午前8時30分～午後5時(時期によって変更する場合があります)

選果場	紫波	矢巾	都南	盛岡
TEL	676-6881	697-9022	638-6100	658-0404
FAX	676-6888	697-7621	638-3162	658-0642

3. 満開起算日数からみた早生品種の収穫期予測

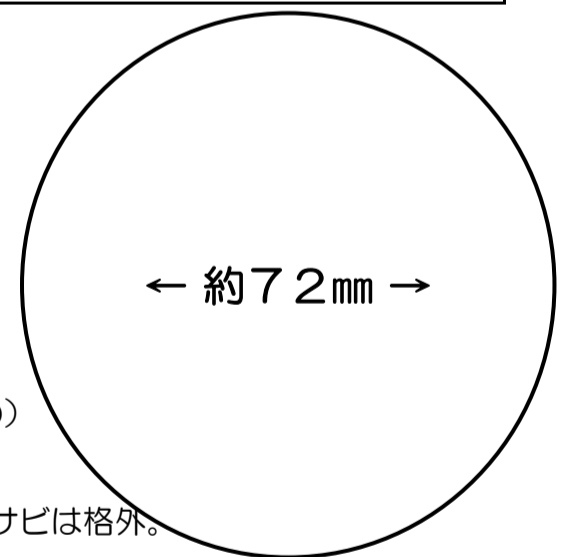
品種	さんさ	きおう	つがる	紅いわて
満開起算日数	115日	115日～125日	115日～125日	130日～140日
(収穫予想) 4/28満開 (紅いわては4/27)	8月21日	8/21～8/31	8/21～8/31	9/4～9/14

4. 収穫作業の進め方

- ① 果実肥大を促進する為にも、『スグリもぎ』を徹底的に行う。
- ② 軟化に気をつけ、地色重視の収穫に努める。
- ③ 着色を待ってからの収穫だと軟化の恐れ有り。(特に老齡樹)
- ④ 急冷の為、コンテナにて出荷。
- ⑤ 現時点で、ピンコ果と判る果実は摘果すると残った果実の着色が進む。
※シルバーシートは使用しない。

5. 受付・選果最低基準

- 大きさ …… 最低重量は180g以上。大きさ目安は72mm前後。
- ツル割(きおう) …… ツル割果はマッチ棒程度の太さで軽微なもの。(乾いているもの)
ツル浮果はツル基が浮き上がって明確に分かる果実は格外。
- 地色 …… 地色が真黄色な果実又は極端に青い果実は格外。
- サビ果 …… 基本的にサビは全て販売する。但しほぼ全面(約70%以上)のサビは格外。
- 軟質果 …… 全て格外。
- 油上がり果 …… 極端なものは格外。



6. 加工用りんごの受付(実施)

- ジュース専用メッシュを各選果場に準備します。出荷する容器はJA及び本人箱で18kg入れとし数量確認後、専用メッシュへ空け変えて下さい。
- ※ 加工用のみの受付は行いません。
- ※ 加工(ジュース用)であっても、腐敗果、極端な鳥害果、果実汚れは混入しないように注意下さい。

【格外科品について】

- ・ 選果時に発生した格外科品は加工用として販売しますが加工販売経費差引き後の販売金は部会が徴収します
- ・ 加工販売情勢が悪化し選果、販売経費が上回った場合、出荷者よりその不足した経費分を負担して頂きます
また販売先がない場合、廃棄料金が加算されることがあります。